

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、IC-M504J専用のコマンドマイクです。

ご使用の前に、本製品と無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

※本書では、本製品のおもな機能と基本的な使いかたを説明していますので、本製品からのDSC操作や外部スピーカーモードなどの使いかたについては、別紙の取扱説明書[応用編]をご覧ください。

## 安全上のご注意

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

### ● 免責事項について

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用手法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。  
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## △ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。
  - 指定以外の機器と接続しないでください。
  - ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
  - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  - 分解、改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。

- ◎ ケーブルを持って、本製品を振り回したり、投げたりしないでください。本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

## △ 注意

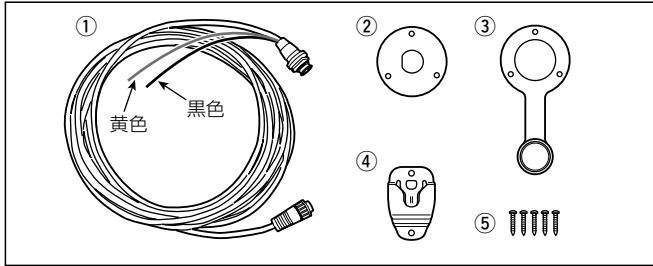
下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- ◎ 無線機に接続する場合や無線機から取りはずす場合は、無線機本体および本製品の電源を必ず切ってください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- ◎ ー20℃～＋60℃を超える温度環境では、使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ◎ 各コネクタ部に金属片やゴミを付着させないでください。ショートして発火の原因になることがあります。
- ◎ 製品の上に乗ったり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。けがや故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。ケースが変質したり、塗料がはがれたりする原因になることがありますので、ふだんは乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

## 付属品について

- ① 接続ケーブル (OPC-1540 : 6m) 注1 ..... 1
- ② 取り付け基台 ..... 1
- ③ コネクターキャップ ..... 1
- ④ マイクハンガー ..... 1
- ⑤ タッピングネジ ..... 5
- 取扱説明書[基本編](本書)、取扱説明書[応用編]

注1 OPC-1540には、外部スピーカーに接続するためのリード線(右図参照)があります。(黄色:スピーカー⊕/黒色:スピーカー⊖)

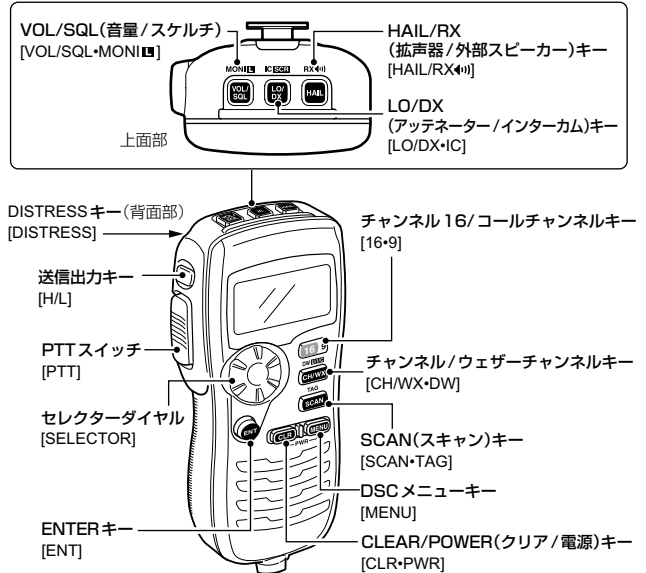


HM-162Bの取り付けかたやご注意については、無線機本体の取扱説明書をよくお読みいただき、HM-162Bを正しくご使用ください。

## 登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、デュアルワッチは、アイコム株式会社の登録商標です。  
コマンドマイクは、アイコム株式会社の商標です。

## 各部の名称について



## 基本操作

### 1. セレクター機能

HM-162Bのセレクターダイヤルは、さまざまな機能を設定できます。

- ➡ [VOL/SQL]を押すごとに、セレクターダイヤルの機能が切り替わります。
  - 音量調整のときは「VOL」表示、スケルチ調整のときは「SQL」表示、またチャンネル選択のときは「CH」表示が点灯します。
- ➡ [CH/WX]を押すと、チャンネル選択に切り替わります。
  - 「CH」表示が点灯します。
- ➡ 音量調整のときに[ENT]または[CLR]を押すと、「SQL」または「CH」表示が点灯します。

- [ENT]または[CLR]を押さないまま5秒経過すると、自動的に音量調整になります。

本書では、セレクターダイヤルについて次のように記載します。

|                |                                         |
|----------------|-----------------------------------------|
| [SELECTOR VOL] | ：音量調整として機能                              |
| [SELECTOR SQL] | ：スケルチ調整として機能                            |
| [SELECTOR CH]  | ：チャンネル選択として機能                           |
| [SELECTOR]     | ：通常のセレクターとして機能<br>(項目の選択や設定内容を変更するときなど) |

### 2. チャンネル選択

#### ◇ チャンネル 16

- ① [16・9]を短く押すと、チャンネル 16 になります。
- ② [CH/WX]を短く押すと、チャンネル 16 を選択する前の表示に戻ります。
  - [SELECTOR CH]を回すと、運用するチャンネルを選択します。



短押し **[16 9]**

#### ◇ コールチャンネル

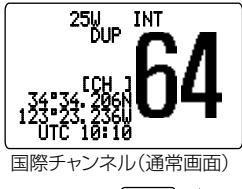
- ① [16・9]を長く(約 1 秒)押すと、コールチャンネルになります。
- ② [CH/WX]を短く押すと、コールチャンネルを選択する前の表示に戻ります。
  - [SELECTOR CH]を回すと、運用するチャンネルを選択します。



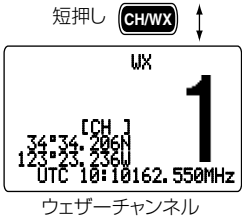
長押し **[16 9]**

#### ◇ 国際チャンネル

- ① [CH/WX]を短く押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。
  - 国際チャンネル選択時、「INT」表示が点灯します。
  - ウェザーチャンネル選択時、「WX」表示が点灯し、ウェザーアラート機能ON時、「WX ALERT」表示が点灯します。
- ② [SELECTOR CH]を回してチャンネルを選択します。
  - デュプレックスチャンネルの場合は、「DUP」表示が点灯します。



国際チャンネル(通常画面)



ウェザーチャンネル

## 電源を入れる／電源を切る

[CLR・PWR]を押しながら[MENU]を押すごとに、電源がON/OFFします。

- HM-162Bの電源がONになると、HM-162Bと接続している無線機本体の電源もONになります。
- [CLR・PWR]を長く(約 1 秒)押しても、電源をONできません。
- 無線機側本体の設定(セットモード)によっては、HM-162Bの電源がOFFになると、HM-162Bと接続している無線機本体の電源もOFFになります。
- HM-162Bの電源がOFFの場合に、無線機本体側がインターカムモードを選択すると、HM-162Bの電源が自動的にONになりインターカムモード(※裏面参照)になります。

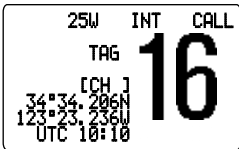
## 海水や砂、泥などが付着したときは？

海水や砂、泥などがマイクロホンに付着したときは、真水で洗い流してください。

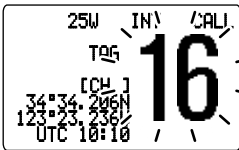
洗い流したあとは、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。

### 3. コールチャンネルの設定

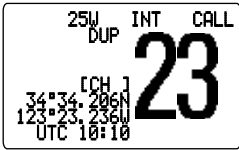
- ① [16・9]を長く(約 1 秒)押すと、コールチャンネルになります。
  - 「CALL」表示が点灯します。



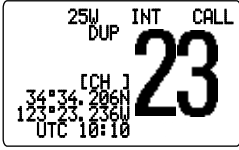
- ② コールチャンネル選択時、[16・9]を長く(約 3 秒)押すと、長いピープ音のあと短いピープ音が2回鳴り、コールチャンネルの設定モードになります。
  - チャンネル番号が点滅します。



- ③ [SELECTOR CH]を回して、チャンネルを選択します。



- ④ [16・9]を短く押すと、選択したチャンネルをコールチャンネルに設定して、通常画面に戻ります。
  - 取り消す場合は、[CH/WX]を押します。



## 基本操作

### 4. 送信と受信について

- ①[CLR•PWR]を長く(約 1 秒)押して、電源をONにします。
- ②音量レベルとスケルチレベルを設定します。
  - ➡[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]を長く(約 1 秒)押すと、モニター機能がONになります。
  - ➡[SELECTOR VOL]を回して、音量レベルを調整します。
  - ➡[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]を短く押すと、モニター機能がOFFになります。
  - ➡[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]を数回押し、[SELECTOR SQL]を回してスケルチレベルを調整します。
- ③[CH/WX]を押し、[SELECTOR CH]を回して、使用するチャンネルを選択します。
  - 信号を受信すると、「BLS $\blacksquare$ 」表示が点灯し、スピーカーから音声が出力されます。
  - 受信音量に応じて、音量レベルを再調整します。
- ④受信信号の強さに応じて、[LO/DX•IC]を短く押して、アッテネーター機能をON/OFFします。
  - アッテネーター機能 ON 時、「LOC」表示が点灯します。
- ⑤通信する相手局との距離に応じて、[H/L]を短く押して、送信出力を切り替えます。
  - 送信出力を切り替えると、「25W」(Highパワー)表示または「1W」(Lowパワー)表示が点灯します。
  - 近距離通信の場合にはLowパワー(1W)、長距離通信の場合にはHighパワー(25W)を選択してください。
  - チャンネルによっては、Lowパワー(1W)しか設定できません。
- ⑥[PTT]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって話します。
  - 送信状態になり、「TX」表示が点灯します。
  - チャンネル 70 では送信できません。
- ⑦[PTT]スイッチをはなすと、受信状態に戻ります。

**マイクロホンに向かって話すときは**  
マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で話してください。  
マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。

### 5. チャンネルコメント

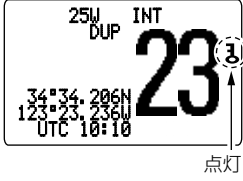
すべてのチャンネルで、英字(大文字/小文字)、数字、記号(- / .)およびスペースを使用して、最大10文字のチャンネルコメントを設定できます。

- ①[CH/WX]を押し、[SELECTOR CH]を回して設定するチャンネルを選択します。
- ②[H/L]を押しながら[16•9]を押すと、チャンネルコメントの入力モードになります。
  - 1桁目のカーソルが点滅します。
- ③[SELECTOR]を回して、入力する文字を選択します。
  - カーソルを右に移動するときは[16•9]、カーソルを左に移動するときは[CH/WX]を押します。
- ④手順③を繰り返し、コメントを入力します。
- ⑤カーソルを一番右端に移動してから[ENT]を押すと、入力した内容が有効になり、通常画面に戻ります。
  - 取り消す場合は、[CLR]を押します。
- ⑥チャンネルコメントを修正する場合は、手順②から⑤の操作を繰り返します。

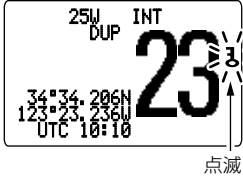
### 6. ロック機能

不用意にキーやスイッチに触れても、チャンネルや運用状態が変わらないようにロックする機能です。  
※無線機本体側のキーやスイッチは、すべて動作します。

#### ◇ ロック機能の使いかた

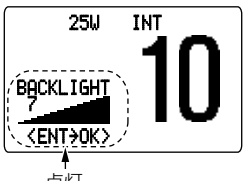
- ➡[H/L]を押しながら[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]を押すごとに、ロック機能がON/OFFします。
- 
- 点灯
- ロック機能ON時は、「3」表示が点灯します。
  - [PWR]([CLR]/[MENU])、[DISTRESS]、[PTT]、[H/L]、[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]と[SELECTOR]以外のキーがロックされます。

#### ◇ オールロック機能の使いかた

- ➡[H/L]を押しながら[PWR]を押して電源をONすることにより、オールロック機能がON/OFFします。
- 
- 点滅
- オールロック機能ON時は、「3」表示が点滅します。
  - [PWR]([CLR]/[MENU])、[DISTRESS]と[PTT]以外のキーがロックされます。

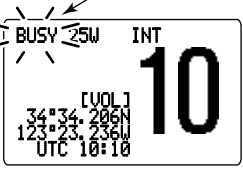
### 7. バックライト機能

バックライトを調整すると、暗い場所などでも表示部や各キーが見やすくなります。  
無線機本体側からもバックライト機能を調整できます。

- ➡[H/L]を押しながら[SELECTOR]を回して、表示部と各キーのバックライトを調整し、[ENT]を押します。
- 
- 点灯
- バックライトレベルと「BACKLIGHT」表示が点灯します。
  - 設定できる範囲は、「OFF、1(暗い)～7(明るい)」です。

### 8. モニター機能

マイクロホンのノイズスケルチだけを一時的に解除して、弱い電波をモニターする機能です。

- ➡[VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ]を長く(約 1 秒)押すと、モニター機能がONになります。
- 
- 点滅
- 「BUS $\blacksquare$ 」表示が点滅して、スケルチが開きます。
  - [VOL/SQL•MONI $\blacksquare$ ] (または[ENT]/[CLR])を短く押すと、モニター機能がOFFになります。

### スキャン操作

#### 1. タグチャンネルの設定

- ①[CH/WX]を押し、[SELECTOR CH]を回して、スキャンの対象(タグチャンネル)からはずすチャンネルを選択します。
- ②[SCAN•TAG]を長く(約 1 秒)押して、タグを解除します。
  - ➡「TAG」表示が消灯します。
  - ➡選択したチャンネルをスキャンの対象にするときは、手順②の操作を繰り返します。
  - スキャンの対象になると、「TAG」表示が点灯します。

#### タグチャンネルの一括設定について

[H/L]を押しながら[SCAN•TAG]を長く(約3秒)押すごとに、長いビープ音のあと短いビープ音が2回鳴り、すべてのチャンネルにタグを設定(または解除)します。

#### 2. スキャン操作のしかた

- ①タグチャンネルを設定します。
- ②スキャンの前に、スケルチが閉じているか確認します。
- ③[SCAN•TAG]を押すと、スキャンがスタートします。
  - プライオリティースキャン動作時は「PRI•SCAN 16」表示、ノーマルスキャン動作時は「NORMAL SCAN」表示が点灯します。
  - 信号を受信すると、セットモードの設定により、その信号が消えるまでスキャンを一時停止する、または5秒間の停止後スキャンを再スタートします。
  - ※プライオリティースキャン中は、チャンネル16をモニターします。
  - [SELECTOR CH]を回すと、タグを設定しているチャンネルを確認したり、スキャンの方向切り替えや信号を受信して一時停止しているときに手動でスキャンを再スタートしたりできます。
  - プライオリティースキャン中、チャンネル16で信号を受信すると、「16」表示が点滅してビープ音が鳴ります。
- ④スキャンを解除するときは、手順③の操作を繰り返します。

### インターカム操作

- ①[LO/DX•IC]を長く(約 1 秒)押すと、インターカムモードになります。
- ②[PTT]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって、普通に会話する大きさの声で話します。
  - 「INTERCOM TALK」表示が点灯します。
- ③[PTT]スイッチをはなします。
  - 無線機本体側が送話できる状態になると、「INTERCOM LISTEN」表示が点灯します。
  - スピーカー音量を調整するときは、[VOL/SQL]を短く押して[SELECTOR VOL]を回します。
- ④通常画面に戻るときは、[LO/DX•IC]を短く押します。
  - [16•9]でも同じように操作できます。

#### ご参考に

HM-162Bの電源がOFFの場合は、無線機本体側がインターカムモードを選択すると、HM-162Bの電源が自動的にONになりインターカムモードになります。

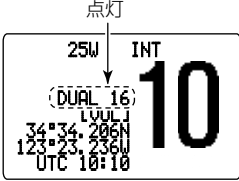
#### ◇ インターカムのビープ音機能

- ➡[LO/DX•IC]を長く(約 1 秒以上)押します。
- キーを押しているあいだ、インターカムのビープ音が鳴ります。

### デュアルワッチ/トライワッチについて

#### 操作について

- ①セットモードで、デュアルワッチまたはトライワッチを選択します。(初期設定:デュアルワッチ)
- ②[CH/WX]を押し、[SELECTOR CH]を回してチャンネルを選択します。
- ③[CH/WX•DW]を長く(約 1 秒)押すと、デュアルワッチまたはトライワッチをスタートします。
  - デュアルワッチ動作時は「DUAL 16」表示、トライワッチ動作時は「TRI 16」表示が点灯します。
  - チャンネル16で信号を受信したときは、ビープ音が鳴ります。
- ④[CH/WX•DW]を短く押すと、デュアルワッチまたはトライワッチを解除します。



#### セットモード

#### 1. セットモードの設定内容を変更する

セットモードでは、無線機本体や本製品に初期設定されている運用条件を運用する状況やお好みの使いかたに応じて変更できます。

- ①電源をOFFにします。
- ②[16•9]を押しながら電源を入れると、セットモードになります。
- ③セットモードの画面が表示されたら、キーをはなします。
- ④[SELECTOR]を回して設定項目を選択し、[ENT]を押すと、選択した設定項目に移行します。
- ⑤[SELECTOR]を回して設定する内容を選択し、[ENT]を押します。
- ⑥[CLR]を押して、セットモードを解除します。

#### 2. セットモードの設定項目

本書に記載している設定項目は、HM-162Bの機能だけです。  
それ以外の機能については、無線機本体の取扱説明書をご覧ください。

◇ビープ音(Beep)  
HM-162Bのキー操作時のビープ音をON(鳴る)/OFF(鳴らない)します。

◇LCDコントラスト  
(Contrast)  
HM-162Bの表示部のコントラストについて設定します。  
設定できる範囲は、「1(低い)～8(高い)」です。

--Set Mode--  
➔Scan Type  
Scan Timer  
WX Alert  
Dual/Tri  
Beep  
External Speaker  
Contrast  
Foghorn Frequency  
Radio Power  
Exit

セットモードの構成(HM-162B)

#### ◇ 外部スピーカー(External Speaker)

外部スピーカー機能ON時、HM-162Bに接続した外部スピーカーを経由して甲板や船内で受信音が聞こえます。

**無線機本体の機能**  
スキャンタイプ、スキャン再スタートタイマー、ウェザーアラート、デュアルワッチ/トライワッチ、ビープ音※<sup>1</sup>、LCDコントラスト※<sup>1</sup>、自動汽笛周波数、電源操作(HM-162B使用時)

**HM-162Bの機能**※<sup>2</sup>  
HM-162Bのビープ音や外部スピーカーモード、LCDコントラスト

※<sup>1</sup> 無線機本体のみ(HM-162Bから選択できません)  
※<sup>2</sup> HM-162Bのみ(無線機本体から選択できません)